



新宿駅周辺で滞留者対策訓練を実施します

新宿駅周辺の事業者からなる協議会（新宿駅周辺滞留者対策訓練協議会）が中心となり、震災時における駅周辺滞留者対策を目的とした訓練を実施します。

1 訓練の目的

大地震が発生した場合、交通機関の停止により新宿駅周辺は多くの滞留者で混乱し、多数の傷病者が発生する可能性があります。行政機関は膨大に発生する被害の全てに対応することは不可能になります。このため、平成 19 年度に新宿駅周辺滞留者対策訓練協議会を立ち上げ、新宿駅周辺の滞留者対策防災訓練を実施し、自助・共助・公助の役割分担による新宿ルール案を策定するなど、地震防災対策を推進しています。

平成 20 年度は、地域協働による新宿駅周辺の滞留者対策・傷病者対応・学生ボランティア活動・地域情報の共有などを目的とした地震防災訓練を実施し、新宿ルール案の推進と混乱防止対策の課題を浮き彫りにします。

2 訓練の内容

- 主体：新宿駅周辺滞留者対策訓練協議会
- 実施日時：平成 20 年 10 月 22 日（水） 午後 1 時 30 分～4 時
- 実施規模：約 2,000 名（予定）
- 想定地震：実施日の午後 1 時 30 分に、都内で震度 6 弱以上の地震が発生
- 規模：M7.3、震源地：東京湾北部、深さ：30～50 km、風速：15m/秒
- 主な訓練：
 - ①超高層ビルの発災対応型訓練・傷病者対応訓練（工学院大学新宿校舎）
 - ②新宿駅西口地域本部の災害情報受信訓練（工学院大学新宿校舎）
 - ③滞留者・要援護者の避難誘導・受入れ訓練（西口地下広場、西口イベントコーナー、ファーストウェストビル前→工学院大、都庁議会棟 1 階→新宿中央公園）
 - ④学生ボランティア活動・体験型訓練（新宿中央公園、都庁議会棟 1 階）
 - ⑤新宿駅東口地域本部の図上演習訓練（新宿区役所）

【注意】

①②③を取材・見学の場合、13 時までに工学院大学新宿校舎 1 階の受付にお越しください（13:30～14:30 まで全エレベータが停止します）。館内の取材は自由ですが、腕章を付けてください。特に③避難誘導訓練は公道を利用した訓練ですので、取材の場合、通行人の妨げ



新宿区プレスリリース 平成20年10月16日 木曜日
新宿区区政情報課 直通5273-4064

にならないよう、ご注意お願い致します。より詳細な内容は工学院大学ホームページ (<http://www.kogakuin.ac.jp/>) をご覧ください。

④⑤の詳細内容は新宿区・区長室危機管理課にお問い合わせください。

3 訓練の特徴

- 1) 新宿駅周辺地域の特性を考慮した地域連携による訓練を行います。
- 2) 発災対応型訓練や傷病者・駅周辺滞留者の対応訓練など、実践的な訓練を行います。
- 3) 学生ボランティアなど地域の人材を活用した訓練を行います。

4 問い合わせ先

○訓練全体・訓練④⑤について

新宿区・区長室危機管理課 電話 03-5273-4592

○訓練①②③について

工学院大学・広報部、または建築学科（訓練担当）電話 03-3342-1211（代）